

8月、色々なことがまだ起きています。天候にしましても、特に台風10号が九州のほうに上陸するのではないかと言われていますけれども、今日はお蔭さまで供養会を開く事ができました。

今年の因縁というのは来年の節分まで出るのです。特に一番最後は、大きく出る場合があります。

大きな因縁の場合は、2月3日節分が終わって出る場合もあります。

上半期に申し上げますが、ご自身とご自身の周りの人の病気・怪我に引き続き十二分にお気を付けください。

今月14日は、お導きをして頂きたいと皆さんにお伝えをいたしました。残念ながらまだまだ使命を達成しない支部が殆どで、極端に言えば、100の内の99%が使命達成していない状況です。やっていれば大難が小難、小難が無難に終わっていたのに、その結果は自分に来るのです。本当に大変なのですよ。

今年は、だから導きをしないと。でもだからといって皆さんが導きに対して何もしていないわけではないという事は、分かっています。ただ、もう一歩なのですよね。このもう一歩ってというのは非常に難しいのです。

会主さまが妙智會の信者は、良くも悪くも因縁が付きやすい。

また、因縁の大きい人が、最後に行き着く場所は、妙智會と言われておりました。

そして会主さまが今日皆さんに逃げるなど、自分を見つめなさい、因縁が大きい事を信じて、悪い因縁に負けずに自分の足で前に

進めば素晴らしい結果が出るよと、会主さまが伝えるようにと言う事でした。

ここまで聞いてどうするかは、皆さん次第です。でもやっぱりできないと思うなら仕方ない。

だったら悪い因縁をそのまま受け入れて下さい。

厳しようだけど法名を付けたからといって避ける事はできません。法名はそのために存在しているものではないのです。

会主さまが残された法名は、その為につけるためにあるのではないのです。

だから逆にやってもいない人に法名をつけると、悪い因縁が増えるのです。

法名はお札ではないので、病気をしたら悪い自分の持っている大きな因縁の為に病気をしたのだから、懺悔して元気になってお導きしますと誓うしかないのです。

「楽な方に頼ってはならないのです」と、今霊界の会主さまから言いなさいと頂きました。

会主さまの月命日だからここまで言わないと目が覚めないだろうという事で、今年もあと3ヶ月ですから、会主さまのお慈悲で私が代わって皆さんに指導させて頂きました。

最後にもう一度言いますけれど、会主さまのこのご指導を受けるか受けないかは皆さん自身です。